

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学 校 名 金 沢 市 立 馬 場 小 学 校
(※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 9 2 0 - 0 8 3 1

E-mail baba-e@kanazawa-city.ed.jp

Website <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/baba-e/>

幼児児童生徒数 男子 54 名 女子 51 名 合計 105 名
幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-12-1 に対応

当校は、「人間性豊かな児童の育成」を学校理念として、E S D を地域素材を取り入れた実感を味わう学びの体験と捉え、E S D の実践を通して自ら課題を見つけ、自ら考え、よりよく問題を解決する能力を育成し、問題解決や探求活動に主体的、創造的な取組を通して、自己の生き方を考えたり、進んで地域に関わろうとしたりする資質を育むことを目標とした。

具体的には、馬場の先輩・地域を学ぶ、地域に関連する単元を柱に、①馬場校下に係わる活動、②馬場の人や文化に係わる教育、③馬場の自然・文化に係わる学習、④歴史と伝統を生かし未来に向かうまち馬場、自分に係わる学習を行った。

① 馬場校下に係わる活動（3 年生「ぼくらのじまん『馬場校下』」

「馬場の伝統行事を知ろう～七つ橋渡り～」では、家族や地域の方から七つ橋渡りについて聞き取りをし、七つ橋渡りの由来や方法、込められた願いなどを知ることができた。「和菓子のすばらしさを学ぼう」では、職人の和菓子作りの技を身近で見て学んだり和菓子作りを体験したりする学習を行った。

②馬場の人や文化に係わる教育（4年生「金沢の伝統を調べよう」）

「馬場小学校のすてきな先輩」では、金沢の三文豪の一人である徳田秋声について、その生涯や作品について調べ学習を行った。また、徳田秋声記念館の方にもお話を聞く機会を持ち、その上で秋声の伝記を読み、感じたことを自分と重ね合わせて感想文を書いた。

「金沢のじまんを調べよう『金箔のひみつ』」では、図書館やインターネットを使って調べ学習を行い、金箔の材料や作り方から、どのようなことに使われているかななどを調べた。また、実際に金箔工芸館へ行き、道具や歴史について調べた後に、地域の職人さんをゲストティーチャーとして招き、自分の描いたデザインをもとにして金箔貼り体験を行った。

③馬場の自然・文化に係わる学習（5年生「ゆたかな自然 ゆたかな文化」）

「馬場の自然探検隊」では卯辰山の野鳥観察、浅野川の水生生物観察を行い、校区の自然にふれる体験を通して学習を進めてきた。それぞれ専門のゲストティーチャーを招き、みつけた生き物についてくわしく教えてもらうことで、今まで気づけなかった地域の自然の豊かさを見つけることができた。「加賀友禅体験」では、友禅作家の先生の手ほどきを受けながら、2ヶ月あまりかけて全ての工程を体験し、作品を完成させることができた。

④ 歴史と伝統を生かし未来に向かうまち馬場、自分に係わる学習

「馬場のすてきを伝えよう」

今年6年生は「東山寺院群」について調べた。それぞれ調べたい寺や神社に直接連絡を取り、取材した。自分たちの住む街にこれだけの寺や神社、そして歴史があるのだということを知ることができた。また、長町と茶屋街の景観を比較し、良いところや問題点、景観を守るためにはどうするか。グループで模造紙にまとめて発表した。景観を理解し、住む街の良さも改めて実感していた。



① 和菓子のすばらしさを学ぼう



② 金沢のじまんを調べよう



③ 馬場の自然探検隊



④ 景観教室

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

| | | | |
|---|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

| | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間（複数選択可）

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

| |
|--|
| 「ふるさと偉人物語」、金沢市小学校伝統・文化副読本「華やか金沢」、 「こども金沢市史」 |
|--|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生活科や総合的な学習の中に位置づけている。
毎年学習発表会で、各学年の学びがつけられているので、何を学ぶのか子供たちは見通しを持っている。そのため年度当初から指導計画を元にそのときの子供たちの興味・関心に合わせながら、単元計画を行うことができる。
また、教師集団もその年の学習の取組を見合うことで、お互いに学習内容を共通理解できるので、教師自身見通しを持つことができる。それぞれの工夫改善したことは、教育課程に反映して生かすようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

毎年、創立記念日の「馬場のステキを伝えよう集会」では、生活科や総合的な学習の時間に学んだ内容を、劇やスライドなどで保護者や地域の方に向けて発信した。
また、全校で同じ日に地域の方を招いて授業をしてもらう「ようこそ先輩の授業」が毎年行われており、今年も全クラスで実施された。ゲストティーチャーの方の技にふれ、実際に教えてもらいながら体験した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教員アンケート、児童アンケート、保護者アンケート、ふりかえり等から、地域の良さや、伝統文化の技の素晴らしさを感じ、守り伝えていくことの大切さについて考え、学んだことを学習発表会で、全校児童や保護者の方々にわかりやすく伝える活動にも取り組むことができた。
限られた時間の枠の中で、どんな題材やテーマを取り上げ、どのように学習をすすめていくのかという学習の見通しを教師が持つことや、教師の地域理解や教材研究のための準備や打ち合わせなどに必要な時間が十分に取れない、といった点があげられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

創立記念日の「馬場のステキを伝えよう集会」では、生活科や総合的な学習の時間に学んだ内容を、劇やスライドなどで保護者や地域の方に向けて発信した。また、今年度は大雪のためなくなったが、金沢ユネスコスクールこどもサミットで金沢市の小学生が集まって発表交流したり、金沢ふるさと学習展示会でポスターを展示している。

学んだことを保護者や地域に知ってもらえ、学習活動への協力を得られやすくなってきている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

石川近代文学館、泉鏡花記念館、徳田秋聲記念館、金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系、日本野鳥の会石川、安江金箔工芸館、石川県土木部都市計画課形成推進室等からゲストティーチャーを招いたり、教えてもらっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

今年度は大雪のためなくなったが、例年、金沢ユネスコスクールこどもサミットで金沢市の小学生が集まって発表交流したり、金沢ふるさと学習展示会でポスターを展示している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

「かなざわ偉人物語」読書感想文コンクールで大変多くの入賞者がでた。子供たちは、馬場小の先輩として金沢の偉人を継続的に学んでいるので、自分の生き方と比べながら書くことができたためと考えられる。コンクールの結果を求めるものではないが、学びを生かして作文を書ける児童が多かったことは特筆すべき効果といえる。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度同様に「人間性豊かな児童の育成」を学校理念として、ESDを地域素材を取り入れた実感を味わう学びの体験と捉え、ESDの実践を通して自ら課題を見つけ、自ら考え、よりよく問題を解決する能力を育成し、問題解決や探求活動に主体的、創造的な取組を通して、自己の生き方を考えたり、進んで地域に関わろうとしたりする資質を育むことを目標とした。
具体的には、馬場の先輩・地域を学ぶ、地域に関連する単元を柱に、①馬場校下に係わる活動、②馬場の人や文化に係わる教育、③馬場の自然・文化に係わる学習、④歴史と伝統を生かし未来に向かうまち馬場、自分に係わる学習を行っていく。